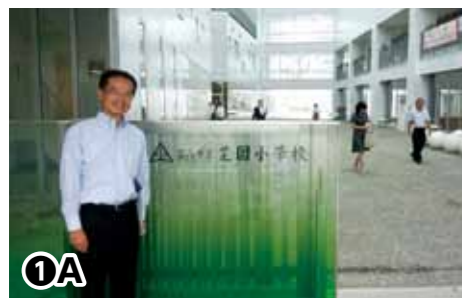


議会活動フォト



①A・①B 学校視察

地域の方々と富山市の小中一貫的教育校である芝園小・芝園中と新築の戸板小を訪問。

②八田與一技師

台湾にて一中・泉丘の先輩である八田與一技師の墓前祭に初めて参加。

③消防操法大会

地元消防団が県消防操法大会に進出し、見事に初優勝。

④拉致被害者の会

残された家族の深い悲しみを目の当たりにし、その解決に取り組む決意。

《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月 野町に生まれる

平成 9 年 4 月 今村証券株式会社入社

52 年 3 月 藤蔭幼稚園卒

23 年 1 月 // 退社

58 年 3 月 森山町小学校卒

23 年 4 月 金沢市議会議員選挙に初当選

61 年 3 月 星稜中学校卒
(剣道部主将)

野町校下青年会・野町弥生消防分団所属
金沢市泉本町に在住

平成 元年 3 月 金沢泉丘高校卒
(剣道部主将)

資格: 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー
宅地建物取引主任者

9 年 3 月 早稲田大学卒

家族 妻、長男(米泉ドジャースにて少年野球)、次男(幼稚園)

金沢市議会議員

喜多浩一通信

Vol.6 発行・喜多浩一



市議会議員 3 年目を迎えて

早くも市議会議員 1 期目も折り返し地点を通過し、3 年目を迎えております。これまでの 2 年余り、多くの市民の皆様から温かいご指導・ご支援を頂いたことを感謝申し上げます。

いよいよあと 1 年半足らずで念願の北陸新幹線が金沢までやってきます。もはや待ったなしの状況であり、金沢市としても全力でその準備に取り組んでいるところです。しかし、これまでの他都市の状況を見るに、開業の経済効果は当初の期待通りになっていない所が多く、観光都市金沢もこれまで以上に危機感を持って、残りの期間を全うしなければなりません。

我々市議会議員の役割は、市民福祉の向上と地域の発展に寄与することに他なりませんし、金沢市議会の役割は山野市長と車の両輪のごとく連携して、金沢市民の負託に応えることであります。

これまでの 2 年半の議員活動の中で、自分なりに金沢市が置かれている現状と課題が少しずつ理解できてきました。今後の残り 1 年半の任期中に、一つでもそれらの課題を解決し、市民の皆さんに信頼され期待される議員にならなければなりません。そのためにも、日々勉強・日々努力を常に肝に銘じ、やはり喜多浩一を選んでよかったと思って頂ける日まで、ひたすら前を向いて邁進していこうと思います。

今後も、温かくも厳しいご声援をよろしくお願い致します。また、いつでもお気軽に金沢市役所 6 階の会派控室までお越しください。心からお待ちしております。

(喜多浩一)

平成25年定例第2回市議会での主な一般質問と答弁の要約

◎野町小学校と弥生小学校の統合について

〈喜多浩一〉
金沢の将来を担う子どもたちのためにご英断くださった野町・弥生両校下の地域の方々に改めて敬意を表します。また、金沢市及び金沢市教育委員会におかれましては、この地域住民の方々の決断、意向に応えるべく、跡地利用も含め、スムーズな統合と早期の校舎建設に向けて大いに努力していただきたいと思います。

〈山野市長〉
両校下の多くの方々に大変な御努力をいただきました。そのことに関して、改めて敬意と感謝を表します。子供たちの教育環境向上と地域に開かれた学校づくりに向けて、教育委員会とともに全力で取り組んでいきます。また、野町小学校の跡地利用につきましても、地域の皆さんと十分に相談をしていながら、適切に対応をしていきたいと考えています。

◎寺町台周辺の新たな魅力向上策について

〈喜多浩一〉
片町から室生犀星記念館、にし茶屋街、寺町寺院群、W坂を下って新桜坂、犀星のみちを經由し、鈴木大拙館、金沢21世紀美術館へとつながる散策ルートは、ひがし茶屋街や主計町などの浅野川かいわいの散策ルートとともに、新たに金沢の魅力を一層向上させると考えられます。今後、このような観光客向けの散策ルートを考えるつもりはないのかお尋ねします。

〈山野市長〉
昨年度、にし茶屋街、寺町、野田山の観光資源の発掘とデータベース化を行ったところであります。今年度は、さらに名所旧跡以外の散策スポットの発掘を行った上で、テーマを定めたモデルコースを設定し、ルートマップを製作することとしており、ご提案の散策ルートについても検討をしていきたいと考えています。

◎子ども・子育て支援新制度について

〈喜多浩一〉
平成24年8月に、子ども・子育て支援法をはじめ、関連3法が成立しました。消費税の税率が10%に引き上げられることを前提として、平成27年度から子ども・子育て支援新制度に移行することになっています。本市においても、今年度当初予算で、新制度移行に向けて金沢版の子ども・子育て会議を設置するとともに、子ども・子育て支援事業計画の策定に着手することとなっていますが、本市の子ども・子育て会議の設置を初め、新制度移行に向けた準備の状況についてお聞かせいたします。

また、事業計画の策定に当たっては、子ども・子育て支援法の規定により、市町村は子ども・子育て会議の意見を聞かなければならないとされています。事業計画は、今後の本市の子育て支援の方向性を示す重要なものであり、子ども・子育て会議の議論は非常に影響が大きいと思われまます。そこで、この会議の構成メンバーや役割などについてどのようなお考えかお聞きします。

〈山野市長〉
今年度は保育需要などのニーズ調査を行うこととしており、この調査結果を踏まえ、子ども・子育て会議に諮りながら、明年度中に27年度からの5カ年の事業計画を策定する予定であります。この会議の構成については、子育ての支援に知識経験のある専門家や保育所、幼稚園などの関係団体の方々のほか、子育て当事者であります保護者の方にも参画していただきたいと考えています。その役割については、子ども・子育て支援事業計画の策定や当該計画の実施状況を調査、審議することなどとなっています。

北國新聞や中日新聞などに取り上げられた記事の一部を掲載しました。

小中連携視野に整備

野町、弥生小の統合新校舎



喜多浩一氏

来年四月に統合予定の野町小学校と弥生小学校の新校舎について、市長は「小中学校施設の一体整備も可能」と述べ、小中連携を視野に入れた整備方針を示唆した。喜多氏に答えた。

泉中学校の敷地を有効活用し、野町、弥生両校の統合校を新築す

る計画。老朽化に伴い、建て替えを予定する泉中と統合校を併設する可能性もあると説明した。

新校舎のあり方は本年度内に策定する基本計画で定め、一四年度に実施設計を行う。野口弘教育長は「早期の校舎完成を目指す。小中一貫の体制について今後研究したい」とも述べた。

統合は二十四日に両校下が同意書に調印後、協議会を設け校名の検討など準備を本格化する。両校は児童や保護者への説明を進めているほか、今後、交流行事も活発化させる。

北國新聞 2013年6月20日付朝刊

喜多浩一関連記事

8日、台湾の水利事業に尽くした金沢出身の八田技師の墓前祭に、28年間参列し続けた人物の姿がなかった。八田技師の顕彰を続ける「八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会」の中川外司世話人代表(67)だ。中川さんは、知られざる八田技師の功績を金沢に伝えた中心人物だが、今年は体調不良のため訪台を見送った。

日中川さんは墓前祭の日を自宅で過ごすのはただただ悔しかったと唇をかんだ。ただ、今回の友好の会の訪台は「世交代への布石」という収穫があったという。

平均年齢70歳超

友好の会は、顕彰を重ねるうちにメンバーが高齢化し、若い世代への継承が最大の課題となつて

喜多浩一氏(自民)と片町の連続性を確保すべく、逆回りルートの運行実験について問う。

山野市長 8、9月の「周遊バス逆回り」を問う

土日祝日の計20日間、金沢駅から15分間隔で運行する。重伝建の寺町台を通ることで寺院群やにし茶屋街の誘客促進につなげたい。利用分析やアンケートも行う。

喜多氏 犀川河畔や歴史資産がある寺町台周辺を移したい。

と片町の連続性を確保すべく、逆回りルートの運行実験について問う。

山野市長 片町地区再生基本構想の具現化に向けてアクションプランに

反映されるよう取り組みたい。

喜多氏 子ども・子育て支援新制度に向けた準備は、山野市長 秋をめどに子ども・子育て会議を置き、保育需要のニーズ調査を行う。調査を基に事業計画をつくり、円滑に移行したい。

「中川さんがいないくても残念だ」。八田技師が建設を指揮した烏山ダムを管理する嘉南農田水利会(台南市)の元会長、徐金錫氏が墓前祭の会場でこうこぼした。十数年来、団体のトップとして親交を深めてきただけに、毎年の再会を心待ちにしてきたようだ。

友好の会が帰国した10

市台湾訪問団

八田技師の縁を交流

顕彰活動

「中川さんを含めた世話人の平均年齢は70歳を超え。そうした状況が今回、喜多浩一市長(42)、会社役員の新保大志さん(38)ら若手が参加し、八田技師の顕彰活動を引き継がれる土台が整った。さらに30、40代を中心とする台湾石川県人会のメンバーも初めて墓前祭に参列するなど、次世代に活動の輪が広がっている。中川さんを含めた世話人の平均年齢は70歳を超え。そうした状況が今回、喜多浩一市長(42)、会社役員の新保大志さん(38)ら若手が参加し、八田技師の顕彰活動を引き継がれる土台が整った。さらに30、40代を中心とする台湾石川県人会のメンバーも初めて墓前祭に参列するなど、次世代に活動の輪が広がっている。

「八田交流」次世代に



地元の国立嘉南大と交流試合を行うなどスポーツの分野にも「八田交流」が広がりをみせる。

「9月の銅像除幕には何としても参加する」と中川さん。八田技師の没後71年が経過した今も、金沢と台南で偉業に対する尊敬の念は色あせず、技師にまつわる物語に新たな一幕が加えられそう。

八田技師の墓前祭に参列した喜多市長(左から2人目)、新保さん(左)、台湾石川県人会のメンバー(台南市)稲川裕之(撮影)

友好の会に若手参加

交流相手である嘉南農田水利会も3年前にトップが交代し、組織の若返りを図った。中川さんからは「後継指名」を受けている台湾在住の徳光重人(51)は墓前祭終了後、「たとえ代替わりをしても、日台双方が手を取り合って技師の功績を

未来に伝えたい」と熱く語り続けた。

永遠に保護、管理「我々がすべきことは、烏山ダムを永遠に保護、管理し、技師の思いを後世に伝えることだ。」

墓前祭であいさつに立って、日台双方が手を取り合って技師の功績を

の継続を約束した。4月に日台領事協定を締結したばかりというところもあり、さらに良好な日台関係の発展を望んだ。

今年度は、ダム建設に没頭する夫を支えた外代樹夫人の銅像除幕が9月に予定されている。時期を合わせ、石川ミリアンスターズが台湾に遠征し、

北國新聞 2013年5月8日付朝刊

北陸中日新聞 2013年6月20日付朝刊

来春の野町・弥生小統合新校舎の設計着手

来春4月の野町小・弥生小統合に向けた予算が初めて計上され、6月に調印された野町、弥生両校下の同意書では、弥生小と泉中の敷地約4万平方メートルに普通教室を43増設する改修費7330万円も計上した。

16年度に完全実施となる小中一貫教育を見据え、地域の意見も聞きながら、建物の配置や工期、概算工費など基本設計を決める。

統合校の校歌や校章の制作、閉校式典の経費など統合準備費500万円、統合校が新校舎に入るまでの仮校舎となる現在の野町小学校舎に普通教室を43増設する改修費7330万円も計上した。

北國新聞 2013年8月31日付朝刊